

食品安全委員会の10月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第350回 10月7日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

遺伝子組換え食品等 専門調査会（1品目）	pGlu株を利用して生産されたグルカナーゼ
-------------------------	-----------------------

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(2品目)	2-(3-フェニルプロピル)ピリジン、2,3-ジエチル-5-メチルピラジン
農薬(2品目)	アミトロール、ペンディメタリン

(3) 食品安全委員会の9月の運営について事務局から報告

(4) 食品安全関係情報（8月28日～9月10日収集分・9月11日～9月24日収集分）について事務局から報告

第351回 10月14日（木）

(1) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(2品目)	エタルフルラリン、ベンフルラリン
清涼飲料水関連 (1物質)	シアン
遺伝子組換え食品 等(1品目)	VAL-No.2株を利用して生産されたL-バリン

(2) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成22年9月分）について事務局から報告

第352回 10月21日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

特定保健用食品 (1品目)	大人ダカラ
------------------	-------

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	ベンスルフロンメチル
---------	------------

(3) 食品安全モニターからの報告（平成22年8月分）について事務局から報告

(4) 食品安全関係情報（9月25日～10月8日収集分）について事務局から報告

第353回 10月28日（木）

（1）食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品 (2品目)	ツラスロマイシン、 ツラスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤(ドラクシン)
-----------------	---

2. 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ

第1回 10月15日（金）

- ・専門委員の互選により、山添康専門委員が座長に選出され、山添座長より、今井田克己専門委員が座長代理に指名された
- ・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について、事務局からこれまでの経緯、今後の評価の手順案、厚生労働省から提出された資料について説明後、今後の評価の手順について確認し、厚生労働省から提出された資料について、主に遺伝毒性に関する審議を行った

3. 専門調査会の運営

（1）農薬専門調査会

第3回 評価第二部会 10月1日（金）※非公開

- ・「アバメクチン」について調査審議し、継続審議となった

第3回 評価第三部会 10月6日（水）※非公開

- ・「イミノクタジンアルベシル酸塩」について調査審議し、継続審議となった

第2回 評価第四部会 10月13日（水）※非公開

- ・「グリホサート」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上で、幹事会への報告については、グリホサートに関する評価が全て終了した後、行うこととなった

第67回 幹事会 10月20日（水）

- ・「アラクロール」、「ブタクロール」、「MCPA」、「シクラニリド」及び「ピリベンカルブ」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「エチクロゼート」について調査審議し、評価書（案）を食品安全委員会に報告することを決定
- ・「1, 3-ジクロロプロペン」について検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった
- ・「ピリダベン」について検討の結果、評価第三部会において調査審議することとなった
- ・評価部会から幹事会に検討を依頼された案件について審議が行われた
- ・農薬専門調査会における評価書評価の考え方（案）及び農薬専門調査会幹事会及び評価部会の運営などについて（案）については、継続して審議することとされた
- ・平成21年度食品安全確保総合調査(ポジティブリスト制度における対象外物質)に係る報告は、次回以降に持ち越しとなった

第3回 評価第一部会 10月22日（金）※非公開

- ・「グリホサート」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上で、幹事会への報告については、グリホサートに関する評価が全て終了した後、行うこととなった

（2）器具・容器包装専門調査会

第14回 10月1日（金）

＜フタル酸エステル類の知見の概要及び評価の論点等について＞

- ・フタル酸エステル6物質のうちフタル酸ビス（2-エチルヘキシル）（DEHP）から評価を開始することとなった
- ・生殖・発生等への影響については、少人数からなる検討グループで知見を精査・検討を行うこととなった
- ・DEHP以外の5物質については、引き続き事務局において情報収集・整理を行うこととなった

＜器具・容器包装に用いられる合成樹脂の食品健康影響評価指針（案）について＞

- ・評価指針（案）について、修正を行った検討グループから報告があり、次回以降の調査会において引き続き審議することとなった

（3）化学物質・汚染物質専門調査会

第8回 清涼飲料水部会 10月25日（月）

- ・「水銀」、「トリクロロ酢酸」及び「アンチモン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「ホウ素」について調査審議し、継続審議となった

（4）かび毒・自然毒等専門調査会

第19回 10月26日（火）

- ・デオキシニバレノール・ニバレノールに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）への国民からの御意見・情報に対する回答（案）について審議を行い、評価書（案）と共に食品安全委員会へ報告することとなった
- ・EFSAの汚染物質パネル座長のシュラッター博士から、EFSAにおけるオクラトキシンAの評価に関する講演があり、同博士と意見交換を行った
- ・食品安全委員会ホームページに「毒キノコ（ニガクリタケ等）による食中毒防止について」を掲載したことについて、事務局から報告を行った

（5）遺伝子組換え食品等専門調査会

第85回 10月27日（水）※非公開

- ・「GLU-N₀. 3株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム」及び「乾燥耐性トウモロコシMON87460系統（食品・飼料）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズBPS-CV127-9（食品・飼料）」について調査審議し、継続審議となった
- ・食品安全委員会が自ら健康影響評価を行う案件候補の選定について、事務局から説明し、議論された

(6) 肥料・飼料等専門調査会

第42回 10月27日(水)

- ・「ナイアシン」、「ピリドキシン」、「葉酸」及び「リボフラビン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「コリン」について調査審議し、継続審議となった

4. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(佐賀県)

10月8日(金)<佐賀県佐賀市>

- ・佐賀県との共催により開催
- ・佐賀県鹿島市の病院医師・医学博士の大石浩隆氏から、リスク分析の3要素と主に魚介類を原因食品とする食中毒のリスクについての話題提供後、疑問や意見を自由に「質問カード」に書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品のリスクを考えるワークショップ(岡山県美作地区)

10月16日(土)<岡山県津山市>

- ・岡山県との共催により開催
- ・食品安全委員会事務局から、カンピロバクターのリスク評価などの情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワーク、参加者全体での意見交換を実施
- ・グループワークでは、生食による食中毒リスクを減らすために、参加者が飲食店のスタッフになったと仮定して「生食による食中毒の予防を呼びかけるチラシ」をグループ毎に作成し、情報提供内容の整理を行った

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(群馬県)

10月18日(月)<群馬県前橋市>

- ・群馬県との共催により開催
- ・前橋工科大学工学部教授の本間知夫氏から、お茶の成分であるカフェインやカテキンの安全性について、その機能性や摂り方も交えながらの話題提供後、疑問や意見を自由に「質問カード」に書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(長野市)

10月26日(火)<長野県長野市>

- ・長野市及び長野市食品衛生協会との共催により開催
- ・長野県健康福祉部食品・生活衛生課の高木正明氏から、鶏肉のカンピロバクター・ジェジュニ/コリのリスク評価結果や腸管出血性大腸菌O157のリスクプロファイルを交えた食肉の生食のリスクに関しての話題提供後、疑問や意見を自由に「質問カード」に書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

(2) 講師等派遣

- ・地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
10月31日	京都大学シンポジウム「食のグローバル化と安全」	小泉委員長

- ・家庭科教員の教員免許状更新講習(10月24日熊本大学)へ食品安全委員会委員(畑江委員)を派遣した